

日本経営数学会のご案内

経営数学は、社会システム、特にビジネスやマネジメントにおける諸問題解決のための数理的アプローチを探求する学問領域である。これには、オペレーションズ・リサーチやマネジメント・サイエンス、そしてファイナンスやマーケティングにおける数理的アプローチ、さらには経営学の対象である経営戦略や経営組織などに見られる様々な現象の理解に対する数理的アプローチが含まれる。日本経営数学会は経営数学の対象領域をこのように広く取り、その研究に取り組む学会として存在している。

また、近年、研究上および実用上の数理的なアプローチの発展は著しい一方で、社会科学系学生の数学の基礎的素養が十分とはいえず、数理的アプローチの教育に支障が出ている。本学会はこのような状況に危機感を持ち、われわれの定義する広い意味での経営数学の教育のあり方や方法の研究にも重点をおいて活動している。

目的

- (1) 経営数学、すなわち数理的アプローチを用いて、企業経営、広くは社会システムの諸問題に対して最適な、あるいはより良い意思決定法を提供する。
- (2) 新しい経営数学、すなわち数理的アプローチを開発し、結果を検証する。
- (3) 経営戦略や経営組織などに見られる様々な現象を数理的に解明する。
- (4) 経営数学普及のための教育方法、教材等を開発する。
- (5) 経済学・経営学、その他の社会科学、さらに数学、情報学などの自然科学分野との融合。
- (6) その他

歴史

1951年、佐々木道雄・久武雅夫・佐藤信吉・越原久明・野沢孝之助などの諸氏によって商業数学研究会が組織され、1959年、上記のメンバーが発起人となって、全国的な商業数学の研究団体として日本商業数学会が創立された。本学会はこの時代から、日本経済学会連合、日本学術会議に加盟し、学会誌の刊行、全国大会の開催を主軸に研究活動を続けてきた。1978年(昭和53年)、**Japan Society of Business Mathematics** という英文名はそのままに、学会名を現在の「日本経営数学会」と改称して現在に至っている。

研究活動

学会誌の刊行：審査付研究論文を中心に年2回発行。現在32巻第1・2号まで刊行。

全国研究大会：6月に開催。通算53回。

秋季研究会：秋に開催。

研究グループ：随時研究グループが組織化され、研究活動を行っている。

学会研究活動を科研費プロジェクトとして推進している。

科研費プロジェクト：

平成11年～12年度「経営数学の体系化と共通教材開発の方法についての研究」

平成13年～14年度「新しい経営数学のあり方と文系学部における教育方法の研究」

平成17年～18年度「社会的要請に応えうる経営数学のあり方と方法についての研究」

日本経営数学会入会申込書

会員種別	正会員	学生会員	賛助会員
入会申込	年	月	日
フリガナ			
氏名			
生年月日	年	月	日
	性別	男・女	
フリガナ			
現住所	〒		
TEL			FAX
E-mail			
フリガナ			
所属名 (勤務先)			
フリガナ			
所在地			
TEL			FAX
E-mail			
通信先	[] 現住所		[] 所属先
最終学歴	卒業年次含む	専門分野	
在校名	入学年次	専門分野	

日本経営数学会

事務局：〒214-8580 川崎市多摩区東三田 2-1-1

専修大学商学部内野研究室内

TEL 044-900-7953(直通) 044-900-7988(研究室受付)

FAX 044-900-7849(研究室受付) E-mail uchino@isc.sesnhu-u.ac.jp